

痛み、苦しみからの開放と、楽しみを持つ入院支援



院長 神山 有史

がん予防、早期発見、早期治療にもかかわらず、がんで亡くられる方は年々増加しています。がんは死亡原因第一位であり、3人に1人はがんで亡くなっています。

当院では、がんの早期発見、早期治療に取り組むとともに、緩和医療を充実させています。

緩和医療では、積極的に疼痛を取り去り、内服治療や腹水濾過濃縮再静注法により消化器症状、全身症状を緩和しています。そして患者さんの話を聞き、相談に乗り、患者さんが現状の中でやりたいこと、やれることを見つけ、やってみようと思ってもらえるよう心理的・精神的にサポートしています。

患者さんには清拭、入浴、整髪により身の回りをさっぱりと、そして食欲の増す料理を提供し、リハビリによる筋力の回復を援助し、患者さんが痛み・苦しみから解放され、楽しみを持つ日常生活を送れることを職員一同支援しています。



亀井病院の目指すもの



放射線部主任
中田拓史

平成 15 年卒
診療放射線技師
放射線管理士
放射線機器管理士
医用画像情報管理士
超音波検査士（循環器）
排尿機能検査士
X線 CT 認定技師

今回は、診療放射線技師の診療へのかかわりと、本年 1 月に一新しましたX線CT、医用画像管理システム(PACS)、超音波診断装置についてご紹介いたします。

私たち診療放射線技師は、泌尿器・透析・緩和医療の領域で多様な検査や処置・手術に携わり、一枚の画像が正確な診断と適切な治療につながるように努めています。

処置や手術では、緊急処置や透視下の内視鏡下手術、術前の造影CTに携わっています。血液透析患者さまのブラッドアクセス管理では、内シャント造影をし、年間100例以上の造影とVAIVT(シャントPTA)を行なっています。

検査と患者さまとのかかわりは、CT検査、X線TV検査(血管造影含)、一般撮影、骨塩定量検査、ESWL、術中透視に従事し、専門的な排尿機能検査にも医師・看護師とともに取り組んでいます。

患者さまと接する時間は少ないですが、安心して検査を受けて頂くために、十分なコミュニケーションを心がけています。また、検査時の被ばくは、最適な線量で適切な画像となるよう配慮しています。



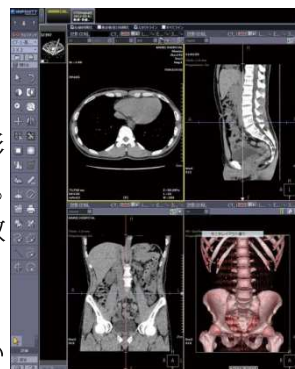
【16列マルチスライスCT「Alexion(東芝製)】

最新の被ばく低減技術、「逐次近似再構成法 AIDR3D (Adaptive Iterative Dose Reduction 3D)」を搭載し画質を向上させながら、今までより約50%の線量低減ができるようになり、患者さまには、従来より安心して検査を受けて頂けるようになりました。PACSと連動し、相乗的に精度の高い診断に貢献しています。

PACSの運用は、平成16年6月から開始しており、昭和52年以降の全画像を一元管理することで、過去の画像も瞬時に閲覧ができています。

今年1月、システム(INFINITT PACS)を更新し診療業務のさらなる効率化をはかりました。

そのひとつに遠隔読影があります。遠隔地の放射線科医とセキュアな接続を行い読影依頼からレポートングまでの作業をまとめることにより、院内で読影しているようなスピード感で、リアルタイムに更新可能な読影環境を整備しています。



●精度の高い超音波診断

装置の一新により、泌尿器科・透析科はもとより、循環器内科での心エコー検査等で透析患者の合併症のスクリーニングや状態の評価、術後フォローアップを行なっています。

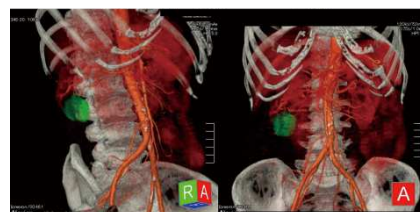
●レントゲンカンファレンス

隔週で開催し、医師や看護師と共に読影結果や術前の検討、治療方針や症例の検討などを行い、専門多職種による情報の共有を行なっています。

●一つ上のレベルを常に目指して

新技術を獲得し、機器の管理や安全性の確認などを徹底し、学会発表や認定の取得などに努め、新しい装置・システムそして使い手の技術の「合わせ技」によって、専門性の高い診断につなげています。

私たちは、最新の技術を患者さまにフィードバックできるよう研鑽をつづけています。



【右腎腫瘍 造影CT 3D画像】

●当院の教育施設認定●

- ・日本泌尿器科学会
泌尿器科専門医教育関連施設
- ・日本透析医学会
専門医制度認定施設
- ・日本緩和医療学会認定研修施設
- ・協力型臨床研修病院

*** 最近注目され始めている「ロコモティブ・シンドローム」***

ロコモティブシンドロームとは「運動器の障害により、要介護となる危険性の高い状態」のことです

高齢化に伴い、骨や関節、筋肉、腱、末梢神経など、体を支え動かす器官である運動器の障害が増えています。足腰が弱くなる、バランス能力が低下する、関節が痛くなるなど、運動器の障害は気付かないうちに進行し、転んで骨を折るなどにより、寝たきりや要介護の原因となっています。

2007年から日本整形外科学会は、このような状態に陥らないように、注意喚起を始めました。ご家庭で安全に気をつけて、ロコモチェックをなさってみてはいかがでしょうか。

ここでご紹介したチェック項目のうちどれか一つでも当てはまるとロコモの可能性がります。毎日少しずつ無理のないトレーニングを始めてみませんか。



リハビリ部副主任
川崎秀樹

① ロコモチェック

- 1) 家の中で、つまずいたり滑ったりする。
- 2) 階段を上がるのに、手すりが必要である。
- 3) 15分くらい続けて歩けない。
- 4) 横断歩道を、青信号で渡りきれない。
- 5) 片足立ちで、靴下がはけない。

② ロコモトレーニング

- 1) 開眼片脚立ち（かいがんかたあしだち）
目を開けたまま両手を広げ、片足を床から5cmほど上げた状態を、左右1分間ずつ、1日3回行います。
- 2) スクワット：ここでは負担の少ないスクワットを行います。まずイスの前に足を開いて立ち、そこからイスに座るようにお尻をゆっくりと下げます。そのあと、イスに座らずにゆっくりと直立の姿勢に戻します。この動作を5～6回行い、これを1日に3回行います。



* トレーニングは安全のために、テーブル・イスなどの前で、体を支えながら行いましょう。

*** 新入職員 紹介 ***

①名前、②職種、③出身地、④趣味・特技、⑤抱負をひと言



- ①中島和弥 なかしま かずみ
- ②診療放射線技師
- ③島根県
- ④バスケット、フットサル、製菓
- ⑤早く一人前の技師になれるように頑張りますので、よろしくお願いします。



- ①大島三幸 おおしま みゆき
- ②医事課
- ③大阪府
- ④カラオケ、カフェめぐり
- ⑤事務職は初めてなので、早く業務を覚えられるよう頑張ります。よろしくお願いします。



- ①石田太一 いしだ たいち
- ②臨床工学技士
- ③徳島県
- ④マラソン、バイク
- ⑤少しでも地元の医療に貢献できるように頑張っていきますので、これからよろしくお願いします。

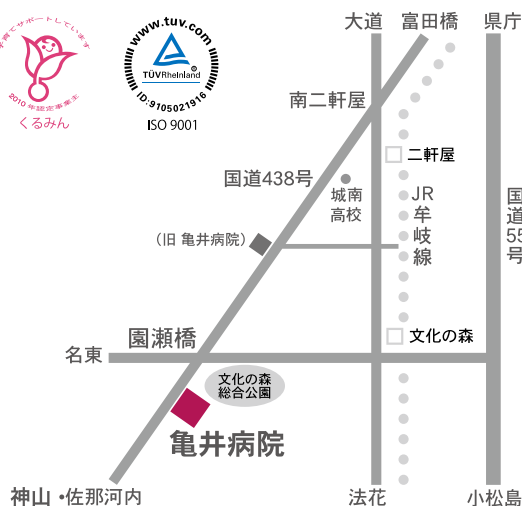


- ①山沖裕也 やまおき ゆうや
- ②臨床工学技士
- ③高知県
- ④映画、スポーツ鑑賞
- ⑤一生懸命頑張りますので、よろしくお願いします。

“外来診療のご案内” 平成 24 年 5 月 1 日～

	月	火	水	木	金	土
腎・泌尿器 9:00~12:00 14:00~16:30	●	●	●	●	●	●
透析 8:00~ 12:30~ 17:00~	●	●	●	●	●	●
総合診療 9:00~12:00	●	●	●	(第2・4土曜)	●	○
緩和医療 9:00~12:00		●		●		
腎臓内科 9:00~12:00 14:00~16:30			●	●		
循環器内科 13:00~17:00			○	(第2・4水曜のみ)		
整形外科 9:00~12:00				(第2・4土曜のみ)		○
麻酔科 9:00~12:00	●	●		●	●	
医療相談 10:00~11:00		●			●	

※緊急の検査・手術や学会出張等で変更になる場合があります。
※いずれの外来も予約制で行っています。ご来院の際は、事前にご確認と予約の電話をお願い致します。



- 国道 438 号線沿い 文化の森総合公園の西側隣
- 徳島バス佐那河内線 【亀井病院前】 停留所は、徳島駅から約 15 分、上下線共に 病院玄関前に停車します。 駐車場 125 台

〒770-8070 徳島市八万町寺山 231
TEL.088-668-1177, FAX.088-668-1122
ホームページ <http://www.kameihospital.com/>

地域医療連携室からお知らせ 「患者相談窓口」を設けました。

- 当院の患者さま・ご家族からのご相談をお伺いします。心配なこと、お困りごとなどがございましたら、気軽にお立ち寄りください。
- 開設日時 日曜祝日を除く 月～土曜日、9時～17時
- ご相談の内容により、関係部署と連絡の上対応いたします。
- ご利用を希望される方は、各階の受付や看護師にご連絡ください。(担当看護師：柏木英里子)

地域医療連携室からお知らせ 「整形外科外来」を設けました。

- 患者さまやご家族の要望におこたえし、5月から、第2と第4土曜日の午前中、9:00～12:00の短時間ですが、整形外科専門医による診療を始めます。
- 受診を希望される患者さまは、事前連絡とご予約をお願いいたします。

病院の理念 よりよい医療を提供し 社会に貢献いたします

* 4つの基本方針*

1. 患者さんの話に耳を傾ける医療
2. 職員全員が医療人としての技量を発揮するチーム医療
3. 患者さんの健康回復・社会復帰を目指す医療
4. 他の医療機関と連携する医療

職員全員で患者さんが健康回復に取り組むことを医療的にそして精神的に支援します

編集後記

新年度になり、当院にも4名の新しい仲間が増えました。その初々しい姿をみると自分が働きはじめた時のことが思い出されました。これから、いろいろなことにチャレンジして欲しいと思います。

広報委員会としても、もっと様々な活動をしていければと思いますので、どうぞご意見お待ちしております。

(広報委員会 M.U.)